



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <https://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸
 (役職名)取締役上席執行役員CFO (氏名)石神 幸宏 (TEL) 045-226-1200
 問合せ先責任者 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 配当支払開始予定日 2019年12月 5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	66,203	9.8	8,896	25.6	8,983	25.3	5,872	21.1
2019年3月期第2四半期	60,288	16.3	7,082	89.6	7,172	86.6	4,850	95.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,840百万円 (20.9%) 2019年3月期第2四半期 4,829百万円 (95.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	48.93	48.51
2019年3月期第2四半期	38.11	37.64

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	92,756	64,957	69.2
2019年3月期	80,307	60,916	74.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 64,177百万円 2019年3月期 60,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	15.00	—
2020年3月期	—	17.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	6.9	15,000	21.1	15,100	22.3	10,200	17.9	85.03

（注）「1株当たり当期純利益」の計算には、実態により近づけるため、期末発行済株式数から期末自己株式数を差し引いた株式数を使用しております。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	130,353,200株	2019年3月期	130,353,200株
2020年3月期2Q	10,278,188株	2019年3月期	10,395,292株
2020年3月期2Q	120,013,267株	2019年3月期2Q	127,256,819株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内売上、インバウンドともに堅調に推移したことに加え、消費増税前の駆け込み需要により、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では66,203百万円(前年同期比9.8%増)となりました。営業利益は、マーケティング費用を前年同期に対し増加させたものの、増収効果による売上総利益の増加により、8,896百万円(前年同期比25.6%増)となりました。経常利益は8,983百万円(前年同期比25.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,872百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、39,903百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

	2019年3月期 前第2四半期連結累計期間		2020年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	27,602	78.9	32,096	80.5	16.3
アテニア化粧品	5,647	16.1	6,431	16.1	13.9
boscia(ボウシャ)	1,410	4.0	931	2.3	△33.9
その他	341	1.0	444	1.1	29.9
合計	35,001	100.0	39,903	100.0	14.0

	2019年3月期 前第2四半期連結累計期間		2020年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	13,100	37.4	14,864	37.3	13.5
店舗販売	14,210	40.6	16,578	41.5	16.7
卸販売他	3,793	10.9	4,911	12.3	29.5
海外	3,897	11.1	3,547	8.9	△9.0
合計	35,001	100.0	39,903	100.0	14.0

ファンケル化粧品は、新発売した「ディープクリア 洗顔パウダー」が好調に推移したことに加え、「ビューティーブーク」、「AND MIRAI」などが寄与し、32,096百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

アテニア化粧品は、リニューアル新発売した基礎スキンケア製品やクレンジング製品が好調で、6,431百万円(前年同期比13.9%増)となりました。

boscia(ボウシャ)は、米国や欧州・中近東の新規進出先は好調だったものの、米国の主要卸先への売上が振るわず、931百万円(前年同期比33.9%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は14,864百万円(前年同期比13.5%増)、店舗販売は16,578百万円(前年同期比16.7%増)、卸販売他は4,911百万円(前年同期比29.5%増)、海外は3,547百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加などにより、営業利益は7,531百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、22,962百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

	2019年3月期 前第2四半期連結累計期間		2020年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,938	31.6	7,756	33.8	11.8
店舗販売	7,523	34.2	6,941	30.2	△7.7
卸販売他	6,329	28.8	7,022	30.6	10.9
海外	1,186	5.4	1,241	5.4	4.7
合計	21,977	100.0	22,962	100.0	4.5

製品面では、機能性表示食品「内脂サポート」や「尿酸サポート」、「年代別サプリメント」などが好調に推移し、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は7,756百万円(前年同期比11.8%増)、店舗販売は6,941百万円(前年同期比7.7%減)、卸販売他は7,022百万円(前年同期比10.9%増)、海外は1,241百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果により売上総利益が増加したものの、「尿酸サポート」などの生活習慣対策サプリメントを中心にプロモーションを展開したことなどにより、営業利益は2,183百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、3,337百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

	2019年3月期 前第2四半期連結累計期間		2020年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	994	971			△2.3
青汁	1,270	1,189			△6.4
その他	1,042	1,176			12.8
合計	3,308	3,337			0.9

営業損益

損益面では、発芽米事業、青汁事業の収益性の改善などにより、営業利益は126百万円(前年同期は166百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて12,449百万円増加し、92,756百万円となりました。この要因は、流動資産の増加10,988百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加10,604百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて8,409百万円増加し、27,799百万円となりました。この要因は、流動負債の減少1,859百万円と固定負債の増加10,268百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少953百万円と、未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少776百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の増加10,225百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,040百万円増加し、64,957百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加5,872百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,799百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から5.6ポイント低下し、69.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は29,239百万円となり、前連結会計年度末より10,604百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,977百万円(前年同期は3,767百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益8,956百万円および減価償却費1,533百万円などによる増加と、仕入債務の増減額947百万円および法人税等の支払額3,375百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,721百万円(前年同期は1,760百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出3,321百万円および無形固定資産の取得による支出384百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は8,371百万円(前年同期は1,804百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入10,205百万円および配当金の支払額1,796百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2019年4月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,635	29,239
受取手形及び売掛金	15,580	15,918
商品及び製品	5,244	5,268
仕掛品	26	-
原材料及び貯蔵品	6,185	6,095
その他	1,189	1,323
貸倒引当金	△171	△168
流動資産合計	46,689	57,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,082	28,502
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,321	△16,689
建物及び構築物(純額)	11,760	11,813
機械装置及び運搬具	9,467	9,873
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,421	△7,576
機械装置及び運搬具(純額)	2,045	2,296
工具、器具及び備品	8,800	8,924
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,384	△7,372
工具、器具及び備品(純額)	1,416	1,552
土地	11,839	11,839
リース資産	256	297
減価償却累計額及び減損損失累計額	△106	△108
リース資産(純額)	150	189
建設仮勘定	314	1,504
有形固定資産合計	27,526	29,195
無形固定資産		
その他	2,229	2,193
無形固定資産合計	2,229	2,193
投資その他の資産		
投資有価証券	176	176
その他	3,685	3,513
投資その他の資産合計	3,862	3,690
固定資産合計	33,617	35,079
資産合計	80,307	92,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,253	2,300
未払法人税等	3,600	3,200
賞与引当金	1,512	1,558
ポイント引当金	1,676	1,899
資産除去債務	-	1
その他	7,909	7,132
流動負債合計	17,951	16,092
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	10,225
退職給付に係る負債	738	703
資産除去債務	412	423
役員賞与引当金	64	98
その他	222	256
固定負債合計	1,438	11,706
負債合計	19,390	27,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	58,902	62,823
自己株式	△21,160	△20,921
株主資本合計	60,243	64,403
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	67	34
退職給付に係る調整累計額	△261	△260
その他の包括利益累計額合計	△193	△225
新株予約権	866	779
純資産合計	60,916	64,957
負債純資産合計	80,307	92,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	60,288	66,203
売上原価	17,163	18,433
売上総利益	43,124	47,769
販売費及び一般管理費	36,041	38,873
営業利益	7,082	8,896
営業外収益		
受取利息	2	26
受取配当金	0	0
受取賃貸料	52	24
為替差益	13	-
受取保険金	-	46
雑収入	53	59
営業外収益合計	121	157
営業外費用		
固定資産賃貸費用	17	6
貸倒引当金繰入額	0	0
為替差損	-	8
社債発行費	-	44
雑損失	13	11
営業外費用合計	32	70
経常利益	7,172	8,983
特別利益		
固定資産売却益	-	0
新株予約権戻入益	0	-
退職給付制度移行益	-	36
特別利益合計	0	36
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	186	11
減損損失	7	4
店舗閉鎖損失	33	44
その他	7	2
特別損失合計	234	63
税金等調整前四半期純利益	6,937	8,956
法人税、住民税及び事業税	2,131	2,909
法人税等調整額	△43	174
法人税等合計	2,087	3,083
四半期純利益	4,850	5,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,850	5,872

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	4,850	5,872
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△25	△33
退職給付に係る調整額	4	0
その他の包括利益合計	△20	△32
四半期包括利益	4,829	5,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,829	5,840
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,937	8,956
減価償却費	1,428	1,533
減損損失	7	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	324	46
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	26	34
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	96	223
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	△33
受取利息及び受取配当金	△2	△26
為替差損益 (△は益)	△5	14
固定資産売却損益 (△は益)	-	1
固定資産除却損	186	11
店舗閉鎖損失	33	44
新株予約権戻入益	△0	-
社債発行費	-	44
受取保険金	-	△46
売上債権の増減額 (△は増加)	△596	△348
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,784	71
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△227	△111
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	87	4
仕入債務の増減額 (△は減少)	66	△947
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,936	△208
その他	△40	38
小計	4,610	9,304
利息及び配当金の受取額	2	1
法人税等の支払額	△845	△3,375
その他	-	46
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,767	5,977

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,441	△3,321
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△418	△384
投資有価証券の取得による支出	△49	-
貸付金の回収による収入	50	50
その他の支出	△61	△116
その他の収入	161	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,760	△3,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	10,205
自己株式の処分による収入	85	0
自己株式の取得による支出	△5	△0
配当金の支払額	△1,840	△1,796
その他	△43	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,804	8,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	194	10,604
現金及び現金同等物の期首残高	36,641	18,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,836	29,239

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	35,001	21,977	3,308	60,288	—	60,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	35,001	21,977	3,308	60,288	—	60,288
セグメント利益又は損失(△)	5,929	2,224	△166	7,988	△905	7,082

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△905百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに所属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	39,903	22,962	3,337	66,203	—	66,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	39,903	22,962	3,337	66,203	—	66,203
セグメント利益	7,531	2,183	126	9,840	△944	8,896

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△944百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに所属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。